

～ 男女共同参画社会の実現に向けて～

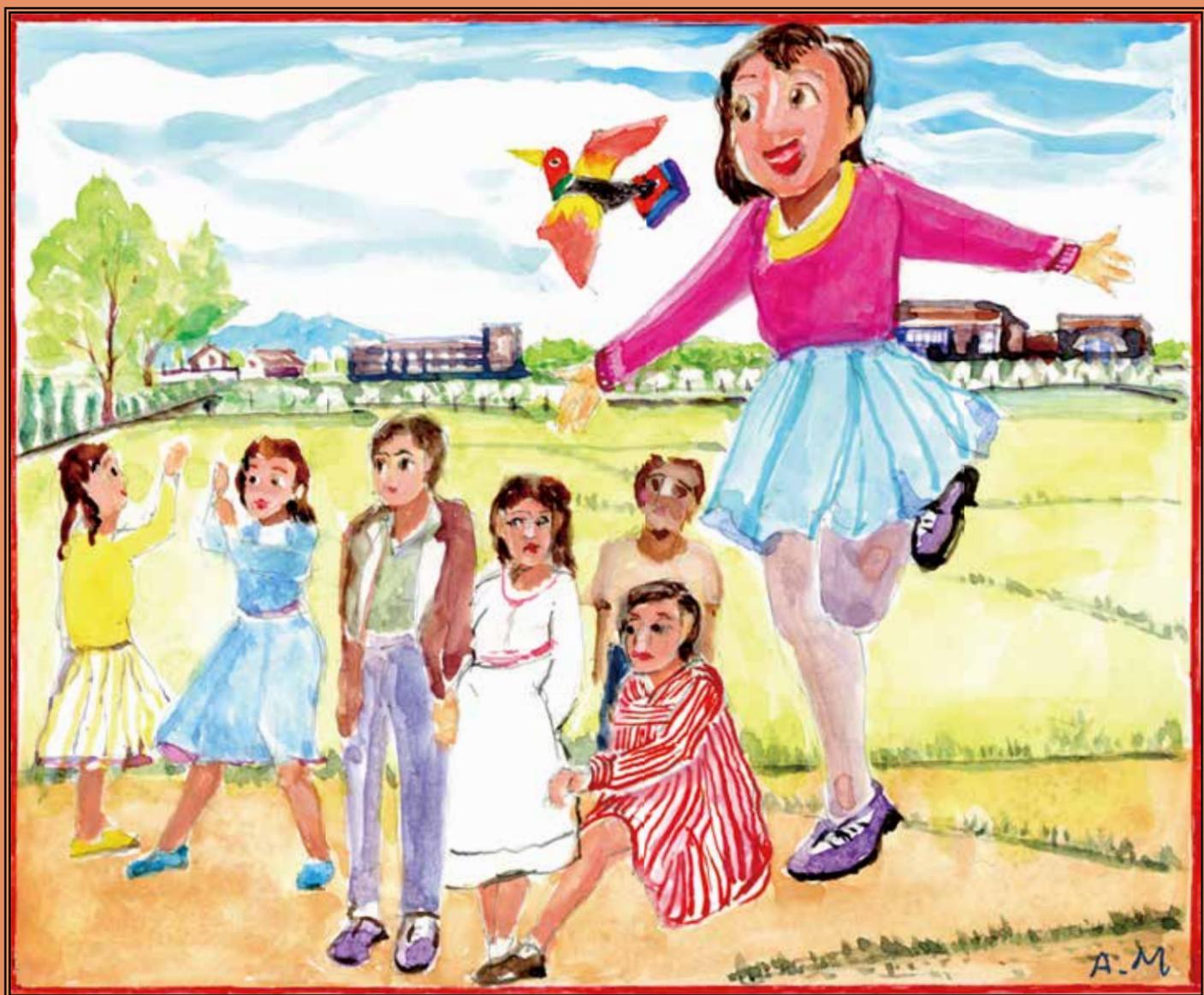
モア MORE

幸手市女と男の情報紙
第27号 2022

モア(MORE)とは、女と男がより豊かに、よりすばらしい男女共同参画社会実現への願いを込めて命名しました。

表紙の絵

社会には体と心の性が一致しない人や同性を好きになる人がいます。全ての人々の人権が尊重される社会の形成を目指し、多様な性のあり方について理解を深めてほしいと願っています。



絵・デザイン 三澤 昭人 作



特集 LGBTについて理解を深めよう	2,3ページ
日本女性会議2021 in 甲府	4ページ
パープルリボンキャンペーン	4ページ

特集 LGBTについて理解を深めよう

🏳️🌈 LGBT（えるじーびーていー）とは

Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）

Gay（ゲイ、男性同性愛者）

Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）

Transgender（トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人）

の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ（性的少数者）を表す総称のひとつとしても使われます。

性のあり方は「L・G・B・T」だけでなく、Questioning（クエスチョニング、自らの性のあり方について、特定の枠に属さない人、わからない人など）やXgender（エックスジェンダー、こころの性が男性・女性のどちらかに規定できない・しない人）など多様な人々がいます。



私は女性で
好きになるのは女の人だよ

戸籍上は女性だけど
私は男性だよ



幸手市在住の看護学生の話

🏳️🌈 性はグラデーション

性は境界線がなく、多様です。男性または女性と認識している人、どちらにも当てはまらないという人、どちらかわからないという人もいます。

性の要素

- 法律上の性別（からだの性）
…身体つきなどの生物学的な性
- 性自認（こころの性）
…自分が感じている性
- 性的指向（好きになる相手の性）
…恋愛感情がどの性別に向いているか
- 表現する性
…言葉遣いや服装、しぐさなど

一人ひとり顔や性格がちがうように、性は人によりさまざまで、「男性」「女性」とはっきり分けられるものではありません。

Aさん25歳会社員

（戸籍上は男性、性自認は女性。）

見た目は女性だが、保険証の記載が男性名になっている。病院外来で待っていると看護師がAさんをフルネーム（男性名）で呼ぶことがあり、苦痛だと言う。なぜなら、男性名なのに見た目が女性のAさんが立ち上がり診察室に入ろうとすると周囲の人の視線がAさんに集中するから。

Aさんは名前では呼ばないでほしいと伝えたが、その病院では患者の取り違えを避けるために個人名で呼び出しをしていると言われ、仕方がないとあきらめた。

病棟で実習していた学生にAさんが教えてくれたことは、「『トランスジェンダーの人かもしれない』と誰もが察する社会になってほしい。せめて医療にかかわる人たちはそうになってほしい。」ということだった。

Bさん21歳学生

（戸籍上は女性、見た目も性自認も男性。）

小さいころから女の子らしい服が嫌だった。今まで両親がBさんの性自認は男性であることを認めてくれていたから、男性トイレに入れなくても温泉に行っても女性風呂でも仕方ないと我慢できたと話す。

社会人になったら性別適合手術をするつもりだと明るく話している。周囲の友達にはすでにカミングアウトしている。カミングアウトした時もだれも驚かず、その後も変わらず接してくれると話す。同じように性自認が男性の学生が同学年にいるため、お互いいろいろ話することもでき、大学生活も楽しく送れている。



LGBTの人々が直面している課題

他にも、LGBTの人々が社会で直面する困難は数多くあります。LGBTとは性の多様性であり、差別されるべきことではありません。

教育・仕事

- ・学校で「気持ち悪い」「ホモ」「レズ」など、バカにするような言葉を投げかけられ、自尊心が深く傷つけられた
- ・学校の制服や体操服などが戸籍上の性別で分けられたため、苦痛を感じ、不登校になった
- ・性的指向や性自認を理由に、解雇や内定取り消しをされたり、辞職を強要された

…など

医療・福祉

- ・パートナーが入院した際、病院・医師から安否情報の提供や治療内容の説明を受けられず、面会もできなかった
- ・医療関係者に性的指向を打ち明けたところ、「そんな不道德な生き方はよくない」と説教され、深く傷ついた
- ・障がい福祉施設の男女分けがはっきりしており、性別違和から安心して利用できなかった

…など

結婚

- ・日本で同性のパートナーと結婚したいが、法的に同性婚が認められていないため、家族を形成できない
- ・パートナーと結婚式を挙げようとしたところ、式場によっては、同性であることを理由に拒否された

…など

公的サービス・社会保障

- ・公的窓口、試験会場、警察、郵便物受取などで本人確認が必要な場合に、身分証明書の性別（戸籍の性）と見た目の性別が一致しないことからトラブルが起きた
- ・同性パートナーと賃貸住宅への入居を申し込もうとしたが、同居親族に当たらないことを理由に拒否された

…など

近年、お互いを人生のパートナーまたは家族として尊重し、継続的に協力し合うことを公に証明するパートナーシップ制度を導入する自治体が増えてきています。

現在、幸手市においても、パートナーシップ制度の導入に向けて、検討しているところです。



相談窓口

東京弁護士会

セクシュアル・マイノリティ電話法律相談

☎03-3581-5515（電話相談料無料）
 毎月第2・第4木曜日（祝祭日の場合は翌金曜日）
 17時～19時
 性的少数者（LGBT）の法律問題に詳しい弁護士が受けします。

よりそいホットライン

一般社団法人社会的包摂サポートセンター

☎0120-279-338（無料）
 性的少数者の相談は、ガイダンスにそって#4を押してください。
 FAX 0120-773-776（通話による聞き取りが難しい方）
 24時間 無休

※以下の相談窓口は、専門の相談窓口ではありませんが、ご相談に応じています。

埼玉県立精神保健福祉センター〔伊奈町〕

☎048-723-6811

（予約専用電話）

来所相談予約受付時間

月曜日～金曜日

（祝日・年末年始を除く）

9時～17時

〈埼玉県こころの電話〉

☎048-723-1447

月曜日～金曜日

（祝日・年末年始を除く）

9時～17時

埼玉県男女共同参画推進センター

（With You さいたま）〔さいたま市〕

☎048-600-3800

月曜日～土曜日

（祝日・年末年始・第3木曜日を除く）

10時～20時30分

日本女性会議 2021 in 甲府

未来へつなく
まちづくりは人づくり
～甲斐の国から ともに～

日本女性会議は、1975年（昭和50年）の国連総会の理念である「平等・開発・平和」の基に定めた国連婦人の10年を記念し、開催されてきました。

今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためオンライン開催となりましたが、幸手市男女共同参画推進協議会から2名の委員が分科会に参加しました。

ジェンダー^{※1}とDV^{※2}に 敏感な視点で日常をみる

～ジェンダー平等は人権の問題。
気づきが差別と暴力を終わらせる。～

今年もリモートでの女性会議の参加となり、山梨県内の各推進委員の代表の方々からのご意見を聴講した。第一部では主にジェンダーが生み出す差別の現実と課題について、日常にあふれているアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込みと偏見）から真の多様性について考えさせられた。人はそれぞれの考え方やとらえ方がある。自分とは異なる意見や不愉快に思う表現であっても、お互いに尊重し共存することで気づきがあり、より良い職場や社会に近づくのではないだろうか。

第二部では、主にジェンダーが生み出す暴力の問題である。身体的・精神的・性的・行動の制限・経済的等さまざまなDVをいち早く気づき解決解消できる社会にするための意識改革を常にしていく必要があると思った。

ダイバーシティ・インクルージョン^{※3} 働き方改革と男性の在り方

～新しい生活様式に、子育て介護に男女とも！
役割を果たす今をつくろう～

ワークライフバランス（WLB）^{※4}の観点からジェンダー平等社会をいかに構築していくかについて専門家からの講義とディスカッションが開催された。

その構築のためには、「男性主導の社会の転換を図る」「男女という二分法による差別や排除の仕組みを変える」「男女の性別を超えて個々人が力を発揮できる多様性にかかれた社会を目指す」この3点でワークライフバランス（WLB）は重要な基盤となるとの内容であった。

それらの身近な一例として、印象に残ったのが、まず男性が変わること。妻への育児・家事を手伝うことから分担することへ。そして「育メン」という言葉を早くこの社会から消滅させること。今からでも遅くない。今日からのあなたの行動にかかっているという各自への課題として締めくくられた。自省を込めて示唆に富む分科会であった。



パープルリボンキャンペーン

埼玉県では、「女性に対する暴力をなくす運動」を多くの人に啓発するため、県民の皆様にパープルリボンを作っていたいただき、タペストリーを完成させるというキャンペーンを実施しています。

（参加：25市町村／埼玉県63市町村）

幸手市では、このキャンペーンの趣旨に賛同し、「女性に対する暴力をなくす運動」の取組みとして、令和3年11月25日（木）～11月29日（月）まで実施しました。



※パープルリボンは、DVをはじめとする女性に対する暴力をなくそうという国際的なキャンペーンのシンボルです。

- ※1 ジェンダー … 生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のこと。
- ※2 DV … 配偶者または事実婚のパートナーなどの親密な関係にある男女間における暴力のこと。
- ※3 ダイバーシティ・インクルージョン … 多種多様な人が互いの考え方の違いや個性を受け入れながら、ともに成長すること。
- ※4 ワークライフバランス（WLB）… 働くすべての人が、「仕事」と「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

編集後記

今年度もコロナ禍での発行となり、例年行っており「女と男の共生セミナー」についても2年連続中止となりました。

東京オリンピック、パラリンピックの開催を契機に、様々な分野での多様性が出てきました。今、それぞれの立場で、これまでの個々の生き方を問われる「時」が来ているように思います。